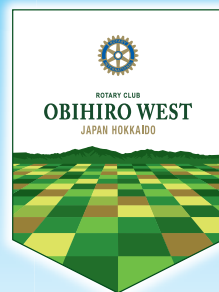




Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ 第1955回例会 2012.7.5 会報



■RI第2500地区テーマ■

心と心、笑顔と笑顔、今奉仕のために行動を起こそう



■クラブ・テーマ■

学ぼうロータリー、訪ねようロータリークラブ

2012-2013年度の第1回例会は、新年度出陣例会、第6分区ガバナー補佐公式訪問、新入会員入会式、そして、かつて例を見ない夜間例会でした。

市内各クラブから激励とスタートのお祝いで多数の来訪者がありました。

第6分区ガバナー補佐 伊藤儀三様(帯広南RC)
帯広RC 奥原 宏会長、奥 周盛様、
讚岐 武史様、堀江 威光様、
橋枝 篤志様、渡辺喜代美様、
若月 誠様
帯広東RC 加藤 昭治様
帯広南RC 小川 芳勝様、小柴 満様

新入会員3名が紹介されました。

工藤 正宏君(推薦者 古田 敦則会員)
松見 喜明君(推薦者 佐々木和彦会員)
立崎 貴之君(推薦者 小谷 典之会員)

RI2500地区第6分区

伊藤ガバナー補佐公式訪問ご挨拶



伊藤ガバナー補佐 公式訪問

・30年ぶりに日本からRI会長を輩出する年度です。今年度RI会長は田中作次さん、埼玉県の小さな町の八潮ロータリークラブから世界のロータリアンのトップが出ることになったのです。

- ・RI2500地区の櫻田ガバナーは、私たちの足元から、家庭に、職場に、我が町にロータリーの心を、奉仕の心を広げようと呼びかけておられます。
- ・私は、第6分区11クラブの横のつながりを強めるよう頑張ってお参ります。ご支援、ご協力をお願いします。

本日のプログラム「新年度出陣例会」

今年度運営方針スピーチ 川田章博会長
懇親会 乾杯 帯広クラブ会長 奥原 宏様
絞めの挨拶 川上哲平会員

ニコニコ献金 (来訪者のみ：会員分は次週に披露)

第6分区ガバナー補佐 伊藤儀三様
帯広RC会長 奥原 宏様
地区米山記念奨学運営副委員長 讚岐武史様
帯広RC 橋枝篤志様



ニコニコ 献金	7月5日	50,000 円
	累 計	50,000 円 (7月5日現在)



会 長 川田 章博 副会長 岡田 武稔 会場監督理事 上垣香世子 発行：広報委員会
幹 事 大友 広明 副会長 古田 敦則 プログラム委員理事 河西 智子 委員長 鈴木 享 (副)本田美喜男



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

チャーターメンバー、第9代会長、1983～84年度分区代理、そして今年度会長 川田章博会員の父上である川田 淳様が去る6月30日にご逝去されました。子息のクラブ会長年度が始まる僅か2時間余前のことです。願わくばご健在で、9代会長と42代会長が並んだ姿を拝見して40年の歴史を実感したかったと思います。今は40周年記念式典にご出席され、激励いただいたことを慰めとして、心からご冥福を祈ります。出陣例会の冒頭、川田会長から会員諸氏に7月3日のお別れ会への参列に対するお礼がありました。



私の直前3年の例会出席率は36%、47%、43%でしかありません。このような私を会長に推挙するという皆様のご厚情の中に何があるのだろうか、を考えてきました。長い間、会長は受けない、やらないと心に決めていましたが、一昨年、大きな心境の変化がありました。

「ロータリーの友」地区代表委員として日本各地のロータリアンとの交流がありました。そこではロータリーに対する姿勢の違いをまざまざと見せつけられました。

それらの人たちの人間としてのレベルの高さ、ロータリーに対する真摯な姿勢から学ぶことが大きく、改めて、ロータリーへの思いを新たにしました。

エレクトに指名されて以来、過去の活動計画書を読んでみましたが、大部分の委員会活動が前年と同じことをやり続けているということに気がきました。

そして考えたことは「我がクラブはこのままでいいのか?」ということです。

去る2月に、創立40周年を迎えた歴史は誇るべき、嬉しいことには違いないが、クラブ運営が過去踏襲であってはならない。数字で言えば、会員数はピークの89名から減少を続け、昨年度のある時期には58名となりました。

これは40年を経て、私たちは創立5年目の時に戻ってしまったということになる。

エレクト指名以来、考えてきたことは、私たちは何が問題だったのか、今、何が問題か、謙虚な反省をもって振り返らなければならないのではないかと、ということです。

こういう考えから、今年度クラブテーマとして以下を掲げさせていただきます。

「学ぼうロータリー ・ 訪ねようロータリークラブ Visiting Clubs and Learning Rotary Spirit」

また、クラブ運営方針を以下にしたいと思います。

- ① 次に迎える創立50周年の時、胸を張って良いクラブと言えるための「準備の1年」、つまり、新しいクラブの活動を様々に模索する「大いなる実験年」にしたいと思います。
- ② 理事会は極めて重要な場であり、クラブ運営については全ての責任を持つ、という原点を考え、クラブ奉仕担当と国際奉仕担当の理事を副会長の兼任とし、また、活気ある例会の実現のためプログラム委員長の理事就任、プロジェクト特別委員会の設置と委員長の理事就任を行いたいと考えます。
- ③ プロジェクト特別委員会は、2年越しの事業である「40周年を機に新しいバナーの作成」を継続し、新しい気持で他クラブを訪問する、つまり、今年度クラブテーマ「学ぼうロータリー・訪ねようロータリークラブ」の実践を推進することを使命とします。
- ④ クラブ規定検討会議を設け、定款・クラブ細則を改めて考えてみたいと思います。同時に、ロータリーに貢献しながら退会后、ロータリーに何の関わりも持たない先輩会員を敬意をもって遇するための「名誉会員」のあり方を検討してみたいと思います。
- ⑤ ロータリーの二つのバックボーンである親睦と奉仕の両輪を回していくことが大事であると思います。親睦中心のクラブ運営を検証するとともに、国際奉仕の一環として、いま存続の危機にあるJICA帯広について可能なサポートを行うため、まずは関係機関と協力して「JICAナイト」を実施したいと思います。

JICA帯広で学ぶ人たちが、世界の新興国の今後を担っていく人材であることに着目すべきと考えます。

- ⑥ 日本のロータリーをリードしている重鎮とも言えるロータリアンを例会にお招きしてお話を聴き、学びたいと思います。

結びに申し上げます。黙っていても時代は流れます。しかし、次の帯広西ロータリークラブの時代は私たちの手によって創りださなければなりません。互いに学び、互いに手を取り、次代に誇れる帯広西ロータリークラブを創ろうではありませんか。

(文責 広報委員長 鈴木)



6月21日 第2回クラブ協議会の模様

今年度運営方針スピーチ

川田章博会長

岡田武稔副会長

挨拶

わが西クラブから発信していこう、時代に合せて進化しようと言う川田会長の心意気に、会員の皆さん、各クラブも是非賛同していただきたい。

微力を尽くします。ご支援をお願いします。

古田敦則副会長

挨拶

副会長就任は快諾ではなく、命令でした。でも、私自身のチャンスにしたいと思います。

同じことを10年、20年続けると何事も形骸化するものです。川田会長を選んだということは、いまクラブを変えていこうと、クラブが望んだことです。

よろしく願いいたします。

大友広明幹事

挨拶

会員の皆さんに支えていただいてやればいんだと考え、幹事を務めさせていただきます。

黒子になって、川田会長と会員みなさんをつなげていきたいと思います。

よろしく願いいたします。

締めめの挨拶

川上哲平会員

川田会長は、古いことは踏襲しないとされた。

私は古いのですが、「古きを訪ねて、新しきを知る」という言葉もあります。いずれにしても世代を超えた皆さんの協力がないとしたら川田丸は沈没してしまいます。みなさん、協力をお願いします。

景気よく三本締めで絞めます。



38年の歴史が滲む風格!!



帯広クラブ 奥原会長の乾杯ご挨拶



鏡開きで川田丸出航!!



女性初の会場監督登場、皆さん、より一層の緊張を!!



この男、水を得た魚。親睦委員長、“何か”をやるでしょう!!

新会員の 登場です。

工藤
正宏君



松見
喜明君



立崎
貴之君



お気づきですか？ Before After その1

Before



6月21日の例会場です。

After



7月5日の例会場です。

違いにお気づきですか？ そうです、7月5日には他クラブのバナーがありませんね。これも今年度の方針のひとつです。40周年を機に新しく作ったバナーを持って、「訪ねよう、ロータリークラブ」なのです。どしどし他のクラブを訪問して、学び、そして新たにバナーを集めよう、ということです。持ち帰られたバナーを広報委員会にお見せください。順次、会報に掲載させていただきます。

もうひとつの Before After その2

Before



7月5日 午後7時40分ころ 会長運営方針スピーチ

After



7月5日 午後8時ころ 宴もたけなわ

Before⇒会長方針の説明に『ピリッ！』 After⇒乾杯後、即座にリラックス！流石に我が帯広西クラブです。切り替えの早いこと、見事です。これぞ諸先輩が築きあげた西クラブ40年の歴史でもあります。（これは大切にしましょう）